

会計	国民健康保険特別会計	学校給食事業特別会計	介護保険特別会計	カルルス温泉スキー場事業特別会計	後期高齢者医療特別会計
歳入	57.7億円	3.2億円	39.0億円	1.0億円	7.8億円
歳出	52.3億円	3.2億円	37.9億円	1.0億円	7.8億円
収支	5.4億円	0.0億円	1.1億円	0.0億円	0.0億円

特別会計
 保険料や使用料を財源に、特定の事業を行うための会計

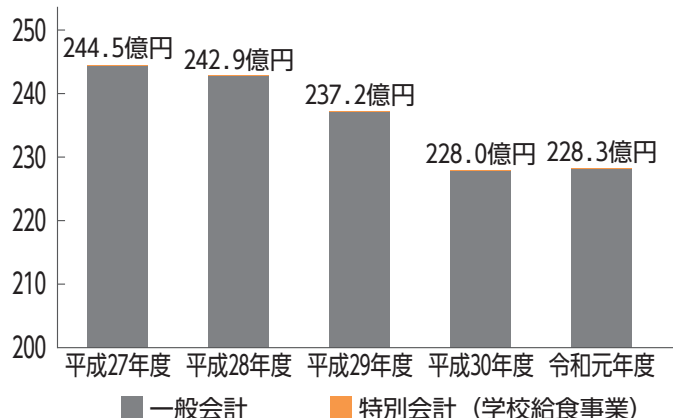
市の借金の状況

道路や公共施設など、将来にわたって利用される大規模な施設を整備する時には、一時的に多額の費用が必要となります。市は、その費用を国や銀行から借り入れ、分割して返済することで、財政負担の平準化や世代間における負担の公平性の担保を図っています。

返済額については、葬斎場や市民プールの建設費の元金返済が終了したことなどから、前年度に比べ2.8億円減少したものの、市の借金残高は、千代の台団地や消防署東支署の建築にかかる新たな借り入れにより、昨年度に比べ0.3億円増加しています。

新たな借り入れにより 残高は前年度に比べ、増加

市債残高の推移



市の貯金の状況

市は、特定の事業に使用したり、財源の調整を図るための預金（基金）を積み立てています。

このうち、市の台所事情が苦しい時などに自由に使うことができる預金としては、財政調整基金、減債基金の一部、北海道市町村備荒資金組合超過納付金の3種類があります。

これらの令和元年度末残高は、合計で6.7億円となり、前年度末の残高に比べて2億円も減少しました。これは、厳しい財政状況の中、収入の不足分を補うために北海道市町村備荒資金組合超過納付金などを取り崩したためです。

自由に使うことができる貯金は、 年々減少

基金残高の推移

